

**平成23年度
教育委員会点検・評価報告書
(平成22年度実績)**

平成24年3月

鳥羽市教育委員会

目次

点検及び評価の概要	1
点検及び評価の構成	1
平成22年度実績評価一覧及び目次	3
1 教育委員会の活動	4
教育委員会の活動に対する意見	10
2 教育委員会が管理・執行する事務	11
教育委員会が管理・執行する事務に対する意見	14
3 管理・執行を教育長に委任する事務	
A 学校教育に関すること	15
学校教育に関することに対する意見	20
B 生涯学習に関すること	21
生涯学習に関することに対する意見	29

中項目・小項目の頁はP 3に記載

点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用した点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

そこで、教育委員会では、法の趣旨にのっとり、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図るとともに、教育委員会の責任体制の明確化を図り、市民の方々への説明責任を果たすために、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、報告書として作成しました。

点検及び評価の構成

1) 項目

点検・評価は、「1 教育委員会の活動」、「2 教育委員会が管理・執行する事務」及び「3 管理・執行を教育長に委任する事務」の3つの大項目を基本として必要に応じて細分化し、中項目、小項目合わせて32の項目に整理し、項目ごとに点検・評価を行いました。

2) 目標

目標は平成20年度鳥羽市教育目標を基に、大項目「1」と「2」については大項目ごとに、「3」については小項目ごとに目標を掲げました。

3) 取り組みの概要

各項目の目標達成に向けて、平成22年度に実施した主な取り組みを示しています。

4) 評価

平成22年度の取り組みをふまえ、進捗状況や今後の課題等を項目ごとに評価をし、ランク付けを行いました。評価の判断基準は次のとおりです。

評価	判断基準
A	目標を達成している
B	一定の成果はあるが取り組みを強化する必要がある
C	一定の成果はあるが改善の必要がある
D	成果がほとんど上がっておらず見直しの必要がある

5) 鳥羽市教育委員会委員名簿

平成23年3月31現在

	氏名	職業等
委員長	大松 正嗣	会社役員
委員	関戸 くみ子	元大里婦人会長
委員	島田 瑞穂	児童保護者
委員	山下 隆広	会社役員
教育長	斎藤 陽二	元中学校長

6) 外部からいただいたご意見

点検・評価結果に対して外部の方々のご意見を、大項目「1」と「2」については大項目ごとに、「3」については中項目ごとにまとめていただきました。ご意見をいただいた方は、次のとおりです。

氏名(敬称略)	役職等
川村 光徳	前鳥羽市教育長
竹内 久	自営業
吉田 真裕美	看護師

平成 22 年度実績 評価一覧及び目次

大項目	中項目	小項目	評価	頁	
1 教育委員会 の活動	(1) 教育委員会の会議	開催状況	A	4	
		運営上の工夫		6	
	(2) 教育委員会と事務局との連携		B	6	
	(3) 教育委員の自己研鑽		B	6	
	(4) 広報・情報公開		A	7	
2 教育委員会 が管理・ 執行する 事務	(1) 市教育行政の教育目標を定めること			11	
	(2) 学校その他の教育機関の設置、廃止及び変更に関すること				
	(3) 教科書その他の教材の取り扱いに関すること	A			
	(4) 教職員の人事に関する基本方針に関すること				
	(5) 事務局および学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関すること				
	(6) 委員会の規則等の制定又は改廃に関すること	A			
	(7) 1件1,000万円以上の工事の執行及び計画に関すること		B	12	
	(8) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条第1項の規定による点検及び評価に関すること			13	
3 管理・執行を 教育長に委任する 事務	A 学校教育に関する こと	(1) 教育内容の充実	B	15	
		(2) いじめ・暴力・不登校対策	B	16	
		(3) 食育の推進と学校給食の充実	B		
		(4) 特別支援教育の推進	B	17	
		(5) 家庭や地域の教育力の再生・向上、また学校・家庭・地域の連携強化	B		
		(6) 幼稚園の教育・サービスの充実	B	18	
		(7) 施設整備等、教育環境の充実	B	19	
	B 生涯学習に関する こと	(1) 社会教育の推進	生涯学習の推進(公民館事業)	B	21
			" (放課後子どもプラン)	C	22
			青少年の健全活動を推進	B	
			文化活動の振興、文化財の保護	B	23
			図書館事業の推進	B	25
			人権教育の推進	B	26
		(2) スポーツ活動の推進	生涯スポーツの推進	B	27
スポーツ施設の充実・管理			B	28	
(3) その他			B		

評価 判断基準

- A …… 目標を達成している
 - B …… 一定の成果はあるが取り組みを強化する必要がある
 - C …… 一定の成果はあるが改善の必要がある
 - D …… 成果がほとんど上がっておらず見直しの必要がある
- 実績のないもの及び評価が困難な項目については「 」とする

1 教育委員会の活動

[目標]

開かれた教育行政の実現に努める。

教育委員会、事務局、学校その他教育機関の連携を密にし、情報・意見交換を積極的に行う。

教育委員としての自覚を持ち、研修に努め、重要かつ基本的な事務処理を適切に行う。

(1) 教育委員会の会議

開催状況（開催数、議案件数、議案件名、主な協議件名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例会 (議案)	1 (2)	1 (8)	1 (3)	1 (1)	1 (3)	1 (0)	1 (0)	1 (3)		1 (2)	1 (8)	1 (4)	11回 (34件)
臨時会 (議案)									1 (1)			1 (2)	2回 (3件)

4月定例会 (H22.4.21)	議案	鳥羽市学校内科医の解委嘱について
		鳥羽市心身障害児就学委員会委員の委嘱について
	その他	開発計画について(費遺跡)
		旧鳥羽小学校について
5月定例会 (H22.5.24)	議案	鳥羽市立学校評議員の委嘱について
		鳥羽市青少年サポートセンター指導員の委嘱について
		鳥羽市学校耳鼻科医の解委嘱について
		鳥羽市学校眼科医の解嘱について
		鳥羽市学校体育施設開放運営委員会委員の解委嘱について
		鳥羽市スポーツ振興審議会委員の解委嘱について
		鳥羽市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の解委嘱について
	その他	鳥羽市公民館長及び主事の解任命について
		CRT(学習到達度調査)について
		鳥羽市虐待等防止ネットワーク設置要綱について
6月定例会 (H22.6.29)	議案	鳥羽市放課後子どもプラン運営委員の委嘱について
		鳥羽市学校体育施設開放運営委員会委員の解委嘱について
		鳥羽市小中学校結核対策委員会委員の委嘱について
その他	国崎小学校統合に関わる確認書について	
7月定例会 (H22.7.26)	議案	平成23年度使用小学校用教科用図書の採択について
	その他	鳥羽市子ども読書活動推進計画について
		加茂中ソフトボール部について

8月定例会 (H22.8.24)	議案	第14回海の香りのする詩の選考委員の委嘱について 平成22年度9月補正の意見申出について
	その他	民生委員(児童委員)との交流について
9月定例会 (H22.9.29)	その他	民生・児童委員児童部会と教育委員との懇談会について
10月定例会 (H22.10.26)	その他	民生・児童委員児童部会と教育委員との懇談会について
		工事の進捗状況について
11月定例会 (H22.11.22)	議案	平成22年度12月補正の意見申出について
		鳥羽市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
		鳥羽市教育委員会委員の選任について
	その他	子ども読書活動推進計画の進捗状況について
		鳥羽市コミュニティセンターの設置及び管理について
		鳥羽市教育委員会委員の退任について
鏡浦中学校統合について 神島小中について		
12月臨時会 (H22.12.24)	選挙	鳥羽市教育委員会委員長を選挙することについて
	議案	平成23年度教職員人事異動基本方針について
1月定例会 (H23.1.26)	議案	鳥羽市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費給付要綱の制定について
		平成23年度全国学力・学習状況調査の実施について
	その他	子ども読書活動推進計画について
		鳥羽市教育目標について
平成22年度教育委員会点検・評価報告書(平成21年度実績)について 鳥羽市小中学校卒業式・国崎小閉校式について		
2月定例会 (H23.2.21)	議案	平成23年度当初予算(教育予算)の意見申出について
		鳥羽市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正についての意見申出について
		鳥羽市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正についての意見申出について
		鳥羽市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について
		就学等に関する規則の一部を改正する規則について
		鳥羽市学校給食共同調理場設置条例施行規則の一部を改正する規則について
		鳥羽市遠距離児童・生徒通学費補助金交付規則の一部を改正する規則について
	鳥羽市子ども読書活動推進計画について	
その他	平成22年度教育委員会点検・評価報告書(平成21年度実績)について 鳥羽市一般会計補正予算について	
3月臨時会 (H23.3.2)	議案	平成23年度鳥羽市教職員人事異動について
		鳥羽市幼稚園則の一部改正について
	その他	鳥羽市教育委員会点検・評価報告書(平成21年度実績)について
		平成22年度卒業式・卒園式について
		鏡浦中の統合について 坂手地区の子どもについて(鳥羽小への通学手段)

3月定例会 (H23.3.23)	議案	鳥羽市教育目標について
		平成22年度(平成21年度実績)教育委員会点検・評価について
		平成23年度鳥羽市教育委員会職員人事異動について
		鳥羽市社会教育指導員の任命について
	その他	鳥羽市子ども読書活動推進計画について
		鏡浦中の鳥羽東中への統合について

【議決の状況】 (付議事項数: 65件)	件数
教育に関する事務の管理及び執行の基本方針	8件
教育委員会規則、規程等の制定・改廃	7件
学校及びその他教育機関の設置及び廃止	1件
教育委員会職員等の任免等	6件
協議会・審議会委員等の任免・委嘱	14件
教育委員会事務の点検・評価	4件
議会提出議案に関する意見	6件
教科用図書の採択	1件
通学区域の設定・変更	6件
文化財の市指定	0件
その他	12件

運営上の工夫

教育委員の活動を通して、教育全般に対する問題提起や懸案事項などについての意見・情報交換を行うとともに、議案としての審議項目の提案などを積極的に行っていく取り組みを進めた。

評価
A

(2) 教育委員会と事務局との連携

議案審議が十分に行えるよう、事務局は資料収集・情報提供に努めるとともに、更に教育委員との連絡調整を密にし、適宜協議が図れるよう努めた。

評価
B

(3) 教育委員の自己研鑽

研修会への参加や時報「市町村教委」を定期購読し、自己研鑽に努めるとともに各学校へ出向き、子ども達とふれあう機会を作った。

また、各委員が研修会、学校訪問、講演会等の参加記録をつけ、今後の取り組みにおける参考資料として活用した。

(研修会、鳥羽市小中学校の発表会等は以下のとおりです。)

開催日	内容	場所
H22.6.25	鳥羽市教育委員会指定研究発表会	菅島小学校
H22.10.21	鳥羽市教育委員会指定研究発表会	長岡中学校
H22.11.9	鳥羽市小学校音楽祭	市民文化会館大ホール

H22.11.12	鳥羽市中学校音楽祭	市民文化会館大ホール
H22.11.16	平成22年度三重の教育談義 「組織マネジメントの観点から見た 学校、教育のあり方」	三重県文化会館中ホール
H22.11.30	鳥羽市小学校人権フォーラム	鳥羽商工会議所かもめホール
H22.12.1	鳥羽市中学校人権フォーラム	鳥羽商工会議所かもめホール

各学校等における行事、各種研修会及び研究発表会等に出席し、子ども達とのふれあいや教職員との交流を通じて自己研鑽に努めた。本年度も諸問題等の状況把握のため教育現場へ出向き、子ども達や教職員から直接意見聴取を行うなど独自の状況分析も行った。

評価

B

(4) 広報・情報公開

情報公開請求に対する情報の公開を行った。

・行政情報の公開状況

件数	全部公開	部分公開	不受理
38	38		

・個人情報公開請求はありませんでした。

防災行政無線を活用し、各種事業のお知らせ、啓発活動を行った。

鳥羽市ホームページのトップページにおいて、告知を行った。(下記7件)

掲載日	所管課	内 容
H22.6.15	生涯学習課	「鳥羽文学講座」受講者の募集について
H22.8.3	生涯学習課	平成23年鳥羽市成人式実行委員一般募集について
H22.8.5	生涯学習課	「第14回海の香りのする詩」作品募集について
H22.12.1	生涯学習課	平成23年鳥羽市成人式のお知らせ
H22.12.27	生涯学習課	パネル展「伊良子清白邸移築物語」のお知らせ
H23.1.21	生涯学習課	地球塾公開講座「歴史文化を活かしたまちづくり」のお知らせ
H23.1.24	生涯学習課	鳥羽文学講座「伊勢志摩の近代文学」のお知らせ

広報とばによる情報発信を行った。

掲載月	担当課	内 容	件 数
4月1日号	生涯学習課	・お知らせ	1件
5月1日号	生涯学習課	・募 集	1件
5月16日号	生涯学習課	・募 集	1件
6月1日号	学校教育課	・募 集	1件
6月16日号	生涯学習課	・お知らせ	1件
8月1日号	生涯学習課	・募 集	1件

9月1日号	生涯学習課	・第10期鳥羽少年探偵団「河村瑞賢の灯した火をたどれ」 ・お知らせ 1件 ・募 集 2件
9月16日号	生涯学習課	・お知らせ 1件 ・募 集 1件
10月1日号	生涯学習課	・第52回市民体育大会参加者を募集
10月16日号	生涯学習課	・募 集 1件
11月1日号	総務課	・平成23年度幼稚園児、預かり保育園児の募集 ・お知らせ 1件
	生涯学習課	・募 集 1件
12月16日号	生涯学習課	・お知らせ 4件
1月1日号	生涯学習課	・第14回「海の香りのする詩」の受賞作品について ・お知らせ 1件 ・募 集 2件
	学校教育課	・お知らせ 1件
2月1日号	生涯学習課	・第4回美し国三重市町対抗駅伝について
	総務課	・お知らせ 1件
	学校教育課	・募 集 1件
2月16日号	生涯学習課	・お知らせ 1件
3月1日号	生涯学習課	・お知らせ 1件 ・募 集 1件
連 載 (上記以外)	生涯学習課	・人権文化の花を咲かせよう (vol.93~104) ・九鬼嘉隆伝~織田水軍の将~ (vol.1~10) ・鳥羽のお宝再発見! (vol.21~26) ・鳥羽を歩く散策案内図まちなみイラストマップ (vol.1) ・図書館だより

行政放送による情報発信を行った。

放送日		所管課	タイトル
5月1日 ~5月15日	お知らせ	生涯学習課	地球塾の活動紹介と塾生募集のお知らせ
8月16日 ~8月31日	お知らせ	生涯学習課	鳥羽文学講座の受講者募集について
9月16日 ~9月30日	お知らせ	生涯学習課	市民大運動会にご参加ください
10月1日 ~10月15日	お知らせ	生涯学習課	市民体育大会が開催されます
11月1日 ~11月15日	特集とば	総務課	平成23年度 幼稚園入園募集・預かり 保育の園児募集
2月1日 ~2月15日	お知らせ	生涯学習課	第4回美し国市町対抗駅伝大会へ のご声援を
2月16日	お知らせ	生涯学習課	第11回鳥羽市子どもフェスティバル

～2月28日			へご参加ください
3月16日 ～3月31日	特集とば	生涯学習課	鳥羽少年探偵団の紹介と今期の活動報告
	お知らせ	生涯学習課	第4回美し国市町対抗駅伝大会の結果について

上記は「お知らせ」7件、「特集とば」2件、そのほか「文字放送」45件あり 計54件

各種事業のお知らせや啓発活動について、広報とばや行政放送等を通じ、より充実した広報活動を行うことができた。また、定期的な広報内容については、まとめて放送することでわかりやすく情報発信するようになった。行政情報の公開については、学校建設、耐震補強及び太陽光発電設備設置関連などの工事関係の情報公開請求が多くあった。

評価
A

教育委員会の活動に対する意見

教育委員会の定例会は、鳥羽市の教育課題が議題として提案され、努力のあとが伺える。定例会の中でも「その他」の議題が今日的な課題として取り上げられていることは評価する。しかし、前年度の課題を評価（反省）しているならば、その課題事項の結果が議題としてとり上げなければならない。特に統合となった、またこれから統合を予定している学校についての課題など、成果・活用に向けた今後の取り組みを協議する必要がある。

教育委員の自己研鑽については、委員長はじめ委員が積極的な学校訪問等を通して学力、生徒指導、統合問題など、教職員や児童生徒とふれあい、意見交換等の現状把握に努めており評価できるが、報告書では具体的に「何が良かったのか」「何が問題であったのか」など、その結果を分析し、課題を明確にして次年度に取り組んでほしい。

学校訪問、公民館、幼稚園や体育・社会教育活動の現場等へ教育長をはじめ教育委員会事務局はもっと積極的に訪問し、現状を把握してほしい。

教育委員会活動に対する意見をホームページ等へ紹介することや社会教育委員等の活用、また教育相談ができる体制づくりをどのようにしたのか、この報告書から見えないので評価できない。

2 教育委員会が管理・執行する事務

[目標]

議案を研究・精査し、適切な処理に努める。

(1) 市教育行政の教育目標を定めること

平成20年度に、平成20年度から平成22年度までの3カ年の教育目標を定めており、本年度は新たに定めたものはない。

評価

--

(2) 学校その他の教育機関の設置、廃止及び変更に関すること

平成22年4月1日から鳥羽市立国崎小学校を廃校とする。

評価

--

(3) 教科書その他の教材の取り扱いに関すること

3回の調査員会議を経て、その調査結果を採択協議会で審議し、適正な教科書採択業務を行った。

評価

A

(4) 教職員の人事に関する基本方針に関すること

三重県教育委員会の方針に基づき配置がなされた。
平成23年度鳥羽市教職員人事異動基本方針を定めた。

評価

--

(5) 事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関すること

開催日程	議案
平成22年第5回定例会 (H22.5.24)	鳥羽市公民館長及び主事の解任命について
平成22年第11回定例会 (H22.11.22)	鳥羽市教育委員会委員の選任について
平成23年第3回定例会 (H23.3.23)	鳥羽市社会教育指導員の任命について

評価

--

(6) 委員会の規則等の制定又は改廃に関すること

規則、規程等の制定及び一部改正を行った。
規則...鳥羽市教育委員会公印規則の一部を改正する規則 他4件
規程等...鳥羽市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費給付要綱

評価

A

(7) 1件1,000万円以上の工事の執行及び計画に関すること

【執行に関すること】(工事、設計業務委託のみ計上)

小学校耐震改修事業：89,670,200円

工 事 名 ・ 委 託 名	金 額
加茂小学校特別教室棟耐震補強及び大規模改修工事監理業務委託	661,500円
加茂小学校特別教室棟耐震補強及び大規模改修工事	54,231,450円
桃取小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事設計監理業務委託(平成21年度繰越分)	587,000円
桃取小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事(平成21年度繰越分)	34,190,250円

小学校建設事業：489,548,150円

工 事 名 ・ 委 託 名	金 額
弘道小学校校舎新築工事監理業務委託	4,987,500円
弘道小学校体育館建設工事設計業務委託	5,460,000円
弘道小学校校舎新築工事	464,100,000円
弘道小学校校舎一部解体等工事(平成21年度繰越分)	15,000,650円

小学校管理業務(太陽光発電設置)：23,488,500円

工 事 名 ・ 委 託 名	金 額
安楽島小学校太陽光発電設置構造検討業務委託(平成21年度繰越分)	273,000円
安楽島小学校太陽光発電設置工事(平成22年度繰越分)	23,215,500円

中学校耐震改修事業：32,134,250円

工 事 名 ・ 委 託 名	金 額
長岡中学校体育館耐震補強及び大規模改修工事(平成21年度繰越分)	32,134,250円

中学校管理業務(太陽光発電設置)：57,743,700円

工 事 名 ・ 委 託 名	金 額
鳥羽東中学校太陽光発電設置構造検討業務委託(平成21年度繰越分)	294,000円
加茂中学校太陽光発電設置構造検討業務委託(平成21年度繰越分)	287,700円
鳥羽東中学校太陽光発電設置工事(平成21年度繰越分)	32,443,950円
加茂中学校太陽光発電設置工事(平成21年度繰越分)	24,718,050円

幼稚園管理業務(太陽光発電設置)：14,157,150円

工 事 名 ・ 委 託 名	金 額
かもめ幼稚園太陽光発電設置構造検討業務委託(平成21年度繰越分)	248,850円
かもめ幼稚園太陽光発電設置工事(平成21年度繰越分)	13,908,300円

桃取コミュニティセンター建設業務：159,513,250円

工 事 名 ・ 委 託 名	金 額
桃取コミュニティセンター附帯（既存建物解体）工事 （平成21年度繰越分）	14,271,600円
桃取コミュニティセンター及び桃取連絡所新築工事 （平成21年度繰越分）	126,794,200円
桃取コミュニティセンター附帯（擁壁）工事（平成21年度繰越分）	18,447,450円

【計画に関すること】

平成23年度に行う予定の工事は下記のとおりです。

工 事 名（設計費含む）	予算額又は設計額
弘道小学校体育館新築工事	203,700,000円
弘道小学校既設校舎解体工事	27,552,000円
弘道小学校屋外環境整備工事（グラウンドほか）	25,494,000円
加茂小学校校舎建設工事（H23～H24）	564,097,000円

平成24年度以降の計画

年 度	対 象
平成24年度	加茂小学校校舎建設工事（継続）
平成24年度	加茂小学校擁壁工事
平成24年度	加茂小学校プール建設工事
平成25年度～平成26年度	神島小中学校新築（複合化案）

市内小中学校の耐震化については、耐震化計画（改築含）をもとに平成26年度までに耐震化率100%に向けた整備を進めているところである。また、小中学校及び幼稚園に環境教育の一環となるエネルギー教育の教材として、太陽光発電設備の導入を図った。

評価

B

- (8) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）
第27条第1項の規定による点検及び評価に関すること
平成22年度中に平成21年度実績の点検及び評価を実施した。

評価

教育委員会が管理・執行する事務に対する意見

学校の耐震工事、建設工事については、計画的に進捗している。今後は将来少子化が進む中、5年・10年間の学校統廃合計画書を策定し、市民にその計画書を提示し、意見を聞く中で効率よく実施してほしい。また廃校、休校となった学校施設の利活用計画を早急に立案し、市民に示してほしい。特に旧鳥羽小学校の活用計画については不透明である。旧鳥羽小学校活用検討委員会の答申はどのようなになっているのか。

自然エネルギーの有効活用である太陽光発電の整備は大変評価できる。このエネルギーの活用について、整備された学校での「環境教育」を今以上に推進していただきたい。

現状を把握したうえ課題を分析し、将来を見通したビジョンを各課が具体的に立案する必要がある。その為には教育長のリーダーシップが発揮されなければならない。

教職員の人事についてはここ2～3年、市外との交流が少ない。活性化の観点から活発に交流をしていくよう改善を望む。

3 管理・執行を教育長に委任する事務

A 学校教育に関すること

(1) 教育内容の充実

[目標]

自ら学び、考える力をもつ子どもの育成

子どもたちの「生きる力」を育むための学力の定着と向上に努める。

[取り組みの概要]

全国学力・学習状況調査の分析をするとともに、指導方法、評価方法の改善について検討し、学力の定着及び向上を図った。

基礎学力向上研究委員会を開催し、各学校の学力向上に向けての取り組み現状の分析と研修会を開催した。(委員会開催回数：3回、研修会開催)

2名の外国語指導助手(ALT)が、幼・小・中学校を巡回し、英語の授業を行い、また、日常的な中で子どもたちが英語によるコミュニケーション力を高めることができた。

(派遣回数...一学期：142回、二学期：152回〔中学校〕、三学期：104回、のべ398回)

鳥羽市教育委員会指定の研究会を行った。(指定校：菅島小学校、長岡中学校)

図書購入費として3,719千円で、学校図書の充実に努めた。

[目標]

豊かな心をもつ子どもの育成

人権やモラル、礼節を尊重する心を育てる教育に努める。

[取り組みの概要]

人権教育を通して、人権に関する意識・態度・実践力を養う活動を実施した。また、小中学校それぞれで鳥羽市人権フォーラムを開催し、人権問題に対する認識を深めた。

道徳教育実践研究事業の指定を受け、人間として在り方生き方を考える道徳教育を推進した。(指定校：鏡浦中学校)

小中学校それぞれで音楽祭を開催し、各学校での音楽活動の成果を発表し、学校間の交流と子どもたちの音楽への関心を深めた。

[目標]

健やかな心身をもつ子どもの育成

心身ともに健康な児童・生徒を育成するため、健康教育の充実に努める。

[取り組みの概要]

5校にスクールカウンセラー、4校に心の相談員を配置し、児童・生徒・保護者・教職員のカウンセリングを積極的に行った。

[目標]

体力の向上

家庭や地域社会との連携により、日常的に野外での遊びやスポーツに参加する環境を整備し、児童・生徒の体力の向上に努める。

[取り組みの概要]

新体力テストを実施し、児童・生徒の現在の体力状況を把握し、体力向上に取り組んだ。小学校においては相撲大会、陸上記録会、中学校においては部活動をはじめ、陸上競技大会、駅伝大会等を開催し、体力の向上に努めた。

学力調査を実施し、分析をするとともに、指導方法の改善について検討した。今後も子どもの状況を把握する中で授業改善と指導力の向上に取り組んでいく。

こころの相談員を配置し、心のゆとりを持てるような環境を提供していく。

評価

B

(2) いじめ・暴力・不登校対策

[目標]

教育支援センター、学校、保護者等関係機関が連携を密にし、問題の早期発見、早期対応に努め、問題解決に向けて取り組みを行い、子どもたちの健全育成に努める。

[取り組みの概要]

不登校児童・生徒の学校復帰を支援するため、専任指導員2人により生活・学習など全般について指導を行った。通級生3名、電話相談延べ357名、面談相談延べ435名となった。問題を抱える子どもの自立支援事業により各学校の問題解決、また、未然防止の取り組みを行った。

不登校状態になっている児童・生徒を対象に、今後もカウンセリング・教科指導を行い、問題解決に向けた取り組みに努めたい。

継続して学校、保護者等関係機関が連携しながら、子どもたちの健全育成を図りたい。また、非行等の未然防止の取り組みとして、「あいさつ・声かけ運動」等、学校単位での継続的な取り組みに努めたい。

評価

B

(3) 食育の推進と学校給食の充実

[目標]

食育の推進

子どもの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図るため、魅力ある食育の推進に努める。

学校給食の充実

地場産物を活用し、安全でおいしく、かつ栄養バランスのとれた学校給食の提供に努める。

[取り組みの概要]

栄養バランスなど調和のとれた学校給食を提供し、児童・生徒の心身の健全な育成に努めた。

食育担当者を中心に、担任と栄養教諭、養護教諭等が保護者と連携を図り、肥満やアレルギー

ギー疾患に関する個別相談・指導を行った。(除去食等アレルギー食対応、肥満予防対策) 地場産物の活用として、関係機関と連携し、地元の農水産物を学校給食に取り入れ、食に関する指導の「生きた教材」として食育の推進を図った。
栄養教諭と調理員を対象に調理講習会や安全衛生講習会を開催し、安心して安全な学校給食の提供に努めた。

子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう食育指導を行い、安心・安全な学校給食の充実に努めた。
地産地消については、今後も、地元農水産物の提供ができるよう、関係機関と調整を図り、実施に努めたい。

評価
B

(4) 特別支援教育の推進

[目標]

障がいのある子どもや特別支援を必要とする子ども一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすことができるよう教育の充実に努める。

[取り組みの概要]

巡回相談員が、障がいのある、また支援の必要な児童生徒の活動の様子の観察等を行い、学校の担当者や保護者と情報交換や面談し、支援の方法をともに考え、助言を行った。

(実施回数：年41回)

小中学校の特別支援教育を推進していくコーディネーターに対して、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援が推進できるよう研修会を行った。

(校内支援体制作り：年3回、子どもの「困り感」のとらえ、各校の支援体制、作りの成果と課題)

全ての学校で特別支援教育への関心が高まっている中、専門性の高い巡回相談員の協力により、障がいのある、また支援の必要な児童・生徒への特別支援教育の充実に努めていく。

研修会を通して特別支援教育を推進していくコーディネーターの資質向上を図った。

市内小中学校間、関係機関との情報交換などを推進し、特別支援教育の推進を図るため、教師の資質向上と啓発の充実に努めたい。

評価
B

(5) 家庭や地域の教育力の再生・向上、また学校・家庭・地域の連携強化

[目標]

家庭や地域の教育力の再生・向上を社会全体の問題ととらえ、家庭や地域が積極的にその役割を果たせるような支援体制づくりに努め、学校・家庭・地域が連携・協力して、地域全体の教育力を高めることができるよう、環境づくりや支援に努める。

[取り組みの概要]

各学校において、校外学習や地域と連携した学校づくりの取り組みを行い、体験を通して活力ある学校づくりを推進した。

開かれた学校づくりにおいて、各学校より各家庭および地域へ「学校だより」の配布等に

より、情報発信を行った。

全ての学校に学校評議員が配置され、学校を外部の視点から見ていくという体制を作った。

特色ある学校づくり事業を行うことで、児童・生徒の活力の推進し、学校・地域との連携強化により開かれた学校づくりに取り組んだ。今後も新しい事業を導入するなど、さらなる連携強化に努めたい。

学校評議員は教育委員会規程で置かれているが、各校での取り組み状況がまちまちになっている。今後は、年間3回ほどの学校評議委員会の開催と教育委員会への報告を徹底させたい。

評価

B

(6) 幼稚園の教育・サービスの充実

[目標]

自ら学び心豊かにたくましく生きようとする幼児の育成に努める。

保護者の就労・子育て支援のため、預かり保育等の実施に努める。

[取り組みの概要]

自ら学ぶ幼児の育成のため、保育室にままごと・絵本・製作・粘土などのコーナーを設けた。

一人ひとりの思いを受け止めることを心がけ、友だち同士のかかわりが十分できるような物的、人的な環境設定に努めた。

豊かな心をもつ幼児の育成のために、絵本や紙芝居を1日2冊以上読み聞かせ、週1回貸し出しを行った。

たくましく生きようとする幼児の育成のため、戸外で思い切り体を動かすことができるように、年間を通して半そで・半ズボンの薄着を奨励したり、自然の中でしっかり遊ぶことを目的に四季を通じて園外保育の時間を多くとるようにしたりした。

特別支援教育充実のため、あすなる巡回相談による個別の指導計画などの保育の研修を行った。

未就園児の保護者を対象に、毎週1回水曜日の午前中、園庭と絵本の部屋の開放を行った。(年間50回)

園での子どもの育ちの状況を知らせるために、1学期・2学期に個別懇談やクラス懇談を実施し、3学期にクラス懇談や個別の育ちの状況を書面で配付するなどした。

園だより(年間46回)、クラスだより(年間25回)を発行し、幼稚園の情報を発信した。

預かり保育を、年間216日実施した。(平成20年度開始)

(利用延べ人数：1,858人、1日平均利用者数：9名)

子育て支援のため、子育てに迷い、不安を抱いている保護者(園外を含む)の相談を聴く機会を設けた。

“自ら学び心豊かにたくましく生きようとする幼児の育成に努める。”
ことについては、幼児が自ら選ぶ経験や活動の中で、一人ひとりの教育を大切にしながらその子に合った教育を長年行っているが、特別支援など新たな視点で子どもの成長を援助して良くことも望まれてきている。

預かり保育については、3年目に入り、環境設定や保育の流れなど子どもにとって生活し易くするための手立てが確立されつつある。年少児と年長児の生活リズムを考慮した保育内容を、より考えていく必要がある。また、希望者が増加してきている中で、トイレが部屋から離れているなど課題も多く、安全や一人ひとりの子どもにより配慮した対応を考えていかなければならない。

評価

B

(7) 施設整備等、教育環境の充実

[目標]

施設・設備の適正な管理と防災・防犯対策の徹底を図り、児童・生徒・教職員の安全確保を図る危機管理体制の確立に努める。

遠距離通園児、通学児童・生徒の安全・利便性の向上に努める。

[取り組みの概要]

小中学校、幼稚園施設の修繕を行い、維持管理に努めた。

公立学校施設整備に係る国庫補助事業を活用し、加茂小学校特別教室棟の耐震補強及び弘道小学校校舎新築工事を行った。また、国の温暖化防止等エネルギー対策に関する補正予算を活用し環境教育の教材として活用するため、小中学校及び幼稚園に太陽光発電設備を設置した。

(太陽光発電設置施設...安楽島小学校、弘道小学校、
鳥羽東中学校、加茂中学校、かもめ幼稚園)

市内小中学校の耐震補強工事については、加茂小学校特別教室棟の耐震補強工事をもって完了した。今後は、弘道小学校体育館、加茂小学校校舎、神島小中学校校舎の新築事業を進める計画であり、日常の維持管理を含めた施設整備と教育環境の充実に努めたい。

評価

B

管理・執行を教育長に委任する事務に対する意見（学校教育に関すること）

児童、生徒が減少する市の現状を踏まえ、統廃合は、時代の流れであるが、その中で小学校における基礎学力の定着、体験学習、校外学習でのコミュニケーション能力の育成を図っていただきたい。そのためには4つの教育目標に基づき、幼稚園・各小中学校の特色に合わせた学校経営が重要である。学力テスト、体力テストの分析、生徒指導の課題と実践等、教育長と指導主事が学校長・園長と連携して学期ごとに評価するリーダーシップの発揮を望む。これが、特色ある学校づくりにつながると思う。

教育環境の充実が計画に沿って実行されている。今後、危機管理体制の確立に向け、計画実践の途上にあると思うが、幼稚園、小中学校、図書館、体育館等の環境に応じ、地震・津波等の被害を想定した具体的な対策を講じた防災訓練を行ってほしい。

中学校入学時の大規模校における学力差が大きいのは、小学校の基礎学力の定着が不十分ではないかと思う。

不登校児童・生徒のカウンセリングを積極的に実施しなければならない状況であるなら、カウンセリングも重要であるが、いじめや暴力など不登校になる原因を明確にし、具体的な対策を講じることが最優先課題ではないか。

体力の向上では、大・小規模で児童生徒の状況を把握して努力している。しかし、中学校生徒数の減少に伴い、部活が消滅していく問題をどう解決するかが課題である。仲間との交流は心身の発達に大切なものであるため重要となる。

学校給食は献立の充実により年々子ども達に喜ばれるようになってきている。

学校評議員の各校での活動、意見、考えなどがいまだに教委で把握されていないのではと思うがどうか。

教育長がリーダーシップを発揮し、教育経営を理解させ、幼稚園・小中学校経営を結びつけることで教育の向上に努めてほしい。

鳥羽小学校の移転に伴い、離島の小学生が船・バスを利用しているが、ダイヤ編成において不便をかけており、もう少し配慮がほしいと思う。

B 生涯学習に関すること

(1) 社会教育の推進

生涯学習の推進（公民館事業）

[目標]

市内の公民館等を活動の拠点として、多様化する市民の学習ニーズに応えながら、「だれもが、いつでも」生涯学習の機会を与えられるよう、社会教育団体などの育成をはじめ、地域が一体となった学習環境の創造に努める。

[取り組みの概要]

【生涯学習事業】

生涯学習講座開催数（講座数：19講座 / のべ参加人数：1,657人）

生涯学習成果発表会や文化協会との共催による文化祭を開催し、芸術・文化に接する機会を設けた。また、夏休み親子体験教室や鳥羽の魅力をも再発見する郷土学習教室を開催し、地域との交流を図るとともに芸術文化・学習活動を推進した。

・生涯学習講座作品展（於：市民文化会館 / 期間：平成22年11月3日～11月4日）

・生涯学習成果発表会（於：市立図書館 / 期間：平成23年3月10日～3月21日）

公民館数：29公民館

地区公民館では、健康体操・太極拳・ヨガ教室等を企画し、地域の健康作りを推進した。また、絵手紙や日本舞踊等の趣味講座、地区主催の文化祭を実施するなど芸術文化・学習活動を推進した。

新成人で実行委員会を組織し、新成人自らの手で成人式を開催することで若者の自主性を引き出し、感動的な新しい門出を祝福することが出来た。

・成人式（平成23年1月9日 / 参加者数：191人）

鳥羽市マリン文学賞の一環として県内の小学生（5・6年生）・中学生を対象に海の香りのする詩を募集し、作品の中から大賞・入賞・奨励賞と今年度から「伊良子清白の家」が開館したことを記念して、伊良子清白賞を新設し選考を行った。また、鳥羽市民文化祭において、市内小中学校の大賞受賞者を表彰し、作品の朗読を行い、入賞作品詩集を作成し、その栄誉を称えた。

・海の香りのする詩応募作品：総数1,225点（小学生の部：303点、中学生の部：922点）

人材育成講座「地球塾」では、昨年度から引き続き「もっと鳥羽を知ろう」という観点から、「鳥羽学・地元学」を取り組み、身近にありながら見過ごしがちな鳥羽の歴史・文化風習について、郷土料理教室・化石発掘・フィールドワークなどを参加者が実際に体験することで鳥羽の魅力を確認しました。また、「歴史文化を活かしたまちづくり」と題して歴史的な町並みを利用したまちづくり活動についての講演会を開催した。

市内中学生で構成する「鳥羽少年探偵団」は、江戸時代、上方と江戸をつなぐ航路を開拓した河村瑞賢と「人と人をつなぐ海」をキーワードに調査しました。また、今年度の県外調査では東京の船の科学館や江戸東京博物館を見学し、江戸時代の航海と、港町鳥羽と行き来した航海者たちとのつながりを学んだ。

補助金を交付し、社会教育団体等の育成に努めた。

（市文化協会、市小中学校PTA連合会、市婦人会連絡協議会、市子ども会連絡協議会、市青少年育成市民会議、鳥羽恐竜研究振興会、郷土史会）

生涯学習講座では、仲間といっしょに学びたい、地域の人と交流したいという市民の生きがい作りや、新たな趣味を見つける、きっかけの場として様々な事業を行った。また、この事業を推進することで受講者の地域での自主活動を促し、その手助けになるよう支援に努めているが、地区公民館の生涯学習活動状況には地域差があり、活動を充実させるために生涯学習講座の出前講座の実施や、情報発信を進めるなど、新たな取り組みを進める必要がある。

評価

B

生涯学習の推進（放課後子どもプラン）

〔目標〕

家庭の教育力の向上

家庭と地区公民館及び地区内の小中学校、幼稚園、高校や関係機関が連携を図り、地域が一体となった、生涯学習環境の創造に努める。その中で、子どもたちが、心優しく豊かな感性を育むことができるよう、家庭の教育力向上に取り組む。

〔取り組みの概要〕

こどもたちの安心で安全な放課後の居場所（活動拠点）づくりとして、放課後子ども教室の運営方法や実施計画について運営委員会において協議を行った。

放課後子ども教室では、様々な活動を異学年の子どもたちが協力し合っって一緒に体験することや、地域の大人との交流により豊かな心を育む場として学校の空き教室・体育館等を利用して実施した。また、今年度から新たな教室設置に向け、安楽島小学校区の子どもを対象に市民体育館でダーツ教室を開催した。23年からは、体育館・運動場を利用し、教室事業を行う。

放課後子ども教室が、核家族化や共稼ぎ家庭の増加により、地域との関わりが希薄となっている子どもたちと、地域の人たちとの交流の場となっている。しかし、その推進には地域の方の参画は必須であるものの、地区での協力ボランティアの確保が年々難しい状況となっており、社会全体で子どもたちを支えるというネットワーク作りを進める必要がある。

また、教室の内容によっては、高学年の参加者が少ない場合も多く幅広い子どもたちの希望にそった魅力ある教室作りも新たな課題となっている。

評価

C

青少年の健全活動を推進

〔目標〕

青少年の非行防止と青少年の健全育成を目指し、青少年サポートセンターを核として学校現場、警察および関係諸団体と連携を図り、青少年に関する諸施策を総合的に調整し、その活動の推進に努める。

〔取り組みの概要〕

青少年育成指導活動の一環で、イベントや祭りの開催時、夏季休暇中には各種団体と連携して合同街頭指導や夜間パトロールを行い、週3回は下校時に指導を行った。また、月2回市内教諭等と合同で、不良行為の行われやすい場所、危険箇所を重点的に巡回指導した。

青少年育成活動として、青少年育成市民会議や諸団体と連携し、各種事業を行った。

- ・青少年育成市民会議と連携し、新春凧揚げ大会を開催した。

（平成23年1月3日 / 参加人数：152人）

- ・スポーツ少年団等諸団体と連携し、子どもフェスティバルを開催した。

（平成23年3月6日 / 参加人数：300人）

- ・地域では、学校、青少年育成会など関係諸団体が連携し、地域の特色ある育成活動、安全活動を実施した。

「青少年を守る店」運動の推進、関係諸機関と連携し、清浄な地域環境づくりに努めた。青少年や家庭の悩みの相談窓口として、常に応じるよう体制を整えている。

青少年サポートセンター、学校、警察等関係諸機関と連携し、青少年の健全育成啓発を行った。

- ・JT喫煙防止キャンペーン、社会を明るくする運動、全国青少年健全育成月間時の大型店や駅前での啓発物品配布や非行防止呼び掛けを行った。

- ・青少年に係る種々のイベントや市のイベントへの参加、啓発活動を行った。

地域における青少年の集会・研修や交流の場として、公民館や学校開放による活用を推進した。

青少年指導活動では、巡回パトロール、街路指導に青色回転灯を新たに導入し啓発を行った。今年度の状況は、鳥羽署管内における青少年の補導件数及び刑法犯少年数ともに、前年より増加しており、引き続き、行政・警察・学校が今後も、街路指導を行うことにより、青少年が安心・安全に過ごし、また非行の芽を摘み取るため、更に連携を密にし啓発を行う必要がある。

情報の多様化により、インターネット・携帯電話等の情報機器などによる青少年への被害が全国的にも増加しており、身近に起こりうるこれらの事例に対応できるよう、研修等には積極的に参加し現在、青少年が置かれている状況を常に把握しておく必要がある。

評価

B

文化活動の振興、文化財の保護

[目標]

地域に密着した芸術・文化環境の育成や、市民が芸能・文化に触れることのできる環境づくりの推進を目指すとともに、文化財・伝統文化といった歴史的遺産を後世に伝え残していくために、文化財及び調査に努め文化財の保存及び郷土学習の推進を図る。

[取り組みの概要]

【文化活動の振興】

鳥羽市文化協会と連携し、文化祭を開催した。

- ・今年度は、35年目という節目で文化祭参加35年皆勤8団体と20年以上の6団体を表彰した。（平成22年11月3日、4日 / 参加人数：約1,000人）

伝統文化継承活動の奨励として、国崎町内会、能楽保存会、松尾町内会、答志青年団の4団体に活動助成を行った。

広野家住宅を周知するため、イベントを開催した。

- ・赤崎祭でホテル観賞会（平成22年6月22日）

【文化財の保護】

国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財への選択（1件）

- ・国崎のノット正月（平成23年3月9日）

文化財の保護・整備

- ・旧鳥羽小学校の説明版の設置
- ・旧広野家住宅内蔵修理（平成23年1月～3月）

歴史文化の発掘・調査

- ・贅東・向ヒ動植物・遺跡試掘調査（平成22年4月・5月）
- ・神島カルスト地形サンプル採取調査（平成22年6月）
- ・九鬼関係資料調査（平成22年6月～12月）
- ・神島八代神社遺物蛍光X線調査（平成22年8月）
- ・大築海貝塚現地探査（平成22年8月）
- ・賀多神社能舞台破損調査（平成23年2月）

調査報告書の刊行

- ・図録「九鬼嘉隆」刊行（平成23年3月）

歴史資料整理事業

- ・緊急雇用創出事業により、歴史資料を整理し目録を作成しデータベース化し『鳥羽市歴史資料目録』・『鳥羽・志摩の出来事』・『伊良子清白』を刊行した。

文化財環境の整備

- ・市指定文化財3件の整備事業補助を行った。
（賀多神社、坂手アヤマ池周辺、九鬼嘉隆胴塚・首塚周辺・岩屋山古墳・蟹穴古墳周辺）
 - ・文化財防火デーでは消防本部と連携し、立入検査を行った。（平成23年1月24日～26日）
- 文化財調査委員会（年3回）、志摩文化財保護委員会総会（1回）を実施した。

歴史文化ガイドセンター事業

2回の特別展を開催し、本市の歴史・文化を市民及び観光客に広く紹介するよう努めた。

- ・鳥羽の戦争遺跡展（平成22年8月1日～9月30日）
- ・九鬼嘉隆展（平成22年10月1日～平成23年3月31日）

文化振興については、市民文化祭に市老連・生涯学習講座受講者の参加など、美術作品の充実を図った。音楽芸能は新たな参加団体が増え、また子どもたちの参加もあり盛況であった。今後は、同じ様な演目が続かないプログラム構成への改善が必要である。

旧広野家住宅の改修計画は、平成22年度は内蔵の瓦葺き替えや外壁の保存修理工事を行い、平成23年度は母屋、24年度は米蔵・便所・外壁の保存改修工事を実施予定である。

鳥羽城跡の発掘調査を平成23年から3カ年計画で実施し、建設課が行っている、まちづくり事業による城山整備とも連携し、鳥羽城の調査、整理、啓発を進め市民の鳥羽の歴史文化への関心を高める。

また、鳥羽の歴史を紹介したコラムを広報とばの継続掲載やホームページを活用し市内外への情報発信を積極的に行った。

評価

B

図書館事業の推進

[目標]

子どもからお年寄、身体に障がいのある方やどこの地域に住んでいる人でも同じように図書館サービスを受け入れることができる体制を整えとともに、「利用者のための図書館」にしていくため、読書普及活動の進展・育成を図り、文化活動の援助・情報提供に努める。

[取り組みの概要]

「子ども読書活動推進計画」の策定（平成23年3月）

図書館年間利用者数：103,632 人 / 年間貸出冊数：114,658 冊

月曜日が祝日の場合は翌日も開館し、7月～9月のみ水曜日も時間延長を行った。

毎月テーマを決めて「おすすめ本コーナー」を設置し、読書の推進・啓発を行った。

ストーリーテリング講習会を開催した。（開催日：平成22年5月25日、6月1日、8日 /

講師：元津おはなしの会マザーグース代表 下澤いづみ氏）

「絵本と子育て」講演会を開催した。

（開催日：平成22年9月29日 / 講師：元かもめ幼稚園園長 矢野政子氏）

「古文書解読いろは」講座を開催した。（開催日：平成22年10月29日、11月19日、12月17日、平成23年1月21日、2月18日 / 講師：皇學館大学佐川記念神道博物館助手 太田光俊氏）

職員による「ブックトーク」を行った。（実施日：毎月1回程度第3土曜日 / 場所：図書館）

読み聞かせボランティア（稲穂会）による「絵本と紙芝居の読み聞かせ」を行った。

（実施日：毎月2回第2土曜日、第4日曜日 / 場所：図書館）

ボランティア（おはなしの会ミルクキーウェイ）と職員による「おはなし会」（ストーリーテリング）を行った。（実施日：毎月1回第1土曜日 / 場所：図書館）

おもにボランティア（矢野政子氏）による「赤ちゃん絵本の読み聞かせ」を行った。

（実施日：毎月1回第4金曜日 / 場所：図書館）

ブックスタート事業を実施し、7ヵ月児健康相談時（健康福祉課主催）に乳児とその保護者を対象に、ボランティアと職員で絵本の意義の説明等を行った。

（実施日：毎月1回第4水曜日 / 場所：健康福祉センターひだまり）

とばっこカードによるプラス10冊貸出を実施した。

夏休み行事

・夏休み小学生おはなし会

（開催日：平成22年7月21日 / 講師：津おはなしの会マザーグース）

・おりがみ教室（開催日：平成22年7月22日 / 講師：図書館職員）

・手づくり絵本講習会（開催日：平成22年7月28日、29日 / 講師：杉谷眞由美氏）

おりがみ教室（開催日：平成22年11月23日 / 講師：図書館職員）

冬休みおはなし会（開催日：平成22年12月24日 / おはなしの会ミルクキーウェイ）

春休みおはなし会（開催日：平成23年3月25日 / おはなしの会ミルクキーウェイ）

大人のためのおはなし会（開催日：平成23年2月15日）

ボランティア（おはなしの会ミルクキーウェイ）と職員による大人対象のおはなし会
図書館だより「ブックフレンド」を発行した。（毎月発行）

「鳥羽市立図書館ベストリーダー」を発行した。（季刊）

文化講座（絵画・書道・短歌・俳句・詩）の開催

・絵画講座（実施日：毎月1回第4木曜日 / 講師：野村昭輝氏）

・書道講座（実施日：毎月1回第2木曜日 / 講師：近藤翠山氏）

・短歌講座（実施日：毎月1回第4木曜日 / 講師：喜多さかえ氏）

・俳句講座（実施日：毎月1回第1木曜日 / 講師：増田河郎子氏）

・詩講座（実施日：毎月1回第3木曜日 / 講師：渡辺正也氏）

本のリサイクルフェア（年2回）

・図書館で保管期限が過ぎた雑誌類や個人等から寄付されて、図書館の蔵書と重複している書籍類のリサイクルを行った。（実施期間：5月13日～6月8日、10月14日～11月9日）

資料展・展覧会（10回）

・「再発見！鳥羽 伊良湖フェリー展」や「原爆と人間展」などを開催した。

職業体験学習・社会見学の受入

・職業体験：高校1校・1名・2日間、中学校3校・8名・のべ6日間

・社会見学：2校37名

・インターンシップ：大学生1名10日間

図書館において、例年実施している読み聞かせや、ブックスタート事業などの活動は継続して実施できた。これらの事業が子どもの読書活動の推進として評価され、平成22年4月には「子ども読書活動優秀実践図書館」として、文部科学大臣賞を受賞した。さらに、この活動の推進のため、「鳥羽市子ども読書活動推進計画」を策定し家庭・地域・学校が連携し、子どもが身近に本と出会える読書環境の推進に努めていく。

新しい取り組みとしては、田原市中央図書館との共同企画展、「再発見！鳥羽 伊良湖フェリー展」が三重県内初の“他県との連携企画”として注目され、新たな情報提供の形が実現した。

今後も事業の継続活動を基本に、市民のニーズに応えた新しい文化の創造と情報提供に努め、人材の育成につながる事業の充実を図りたい。

施設面については、グリーンニューディール事業によって、太陽光発電の導入とLED照明への交換工事が実施された。

評価

B

人権教育の推進

[目標]

鳥羽市人権基本方針の基本精神のもと、社会教育活動を通じて、全市民的・総合的な人権教育を推進する。また、人権尊重の精神に徹して人権問題の本質を正しく認識し、その解決に向けて努力する市民の育成に努める。

[取り組みの概要]

市民の人権意識の高揚を図るため、啓発事業を行った。

・市人権・同和教育研究協議会や、行政、学校、地域団体が連携し講演会や学習会を実施した。

・広報とばに人権啓発コラムを市民課と協働で掲載し市民の人権意識の向上を図った。

人権教育推進事業の実施

・地域の関係機関と連携して講演会、研修会、講座等を実施し、人権意識の高揚を図り、人材育成へ努めた。（開催数：14回 / のべ参加人数：1,626人）

人権教育の研究、研修への取り組み

・鳥羽市人権・同和教育研究協議会等の活動計画に基づき、研究・実践を深めた。

・担当者研修会への出席

子どもたちにも分かりやすいようにゲーム・クイズ形式講演会・人権楽語・体験談を聞く等の市民の人権意識を高めるために様々な趣向の講演会や、学習会を実施し好評であった。

市民課、人権擁護委員と連携し加茂地区において一日啓発事業として、「人権の夕べ」を企画し、小・中学校・高齢者施設等で幅広い年齢層の地域の方を対象に実施した。

人権推進事業が人権施策の主たる活動であることから参加者、内容の多様化を図った。また、地域の拠点・発信源となっている学校と連携し、本事業を展開することで人権感覚あふれる地域づくりに役立つことが出来た。今後は、市民団体・企業・青壮年層への働きかけなどにも努力し、地域ぐるみで考え、取り組めるよう人権意識の推進を図りたい。

評価

B

(2) スポーツ活動の推進 生涯スポーツの推進

[目標]

市体育協会、市体育指導委員の活動を支援し、生涯を通じて運動に親しむ意識や能力の養成など、市民一人ひとりが手軽に楽しめるスポーツの振興のための環境および体制づくりの推進に努める。

[取り組みの概要]

市内小学校、鳥羽志摩中学校相撲大会を開催した。

(小学校...平成 22 年 6 月 26 日 / 参加選手 : 160 人

中学校...平成 22 年 6 月 12 日 / 参加選手 : 65 人)

各種スポーツ教室を実施した。

(水泳 : 3 回、障がい者 : 12 回、スキー : 3 回、巡回スポーツ教室 : 2 回)

市民大運動会を開催した。(平成 22 年 10 月 9 日 / 参加者 : 1,600 人)

市民体育大会を開催した。

(平成 22 年 6 月 27 日 ~ 平成 23 年 1 月 16 日 / 開催種目数 : 18 種目)

伊勢志摩中日ウォーク大会を中日新聞社と共催した。

(平成 22 年 12 月 5 日 / 参加者 : 1,400 人)

美し国三重市町対抗駅伝に選手を派遣した。

(平成 23 年 2 月 20 日 / 参加 29 市町中 19 位、タイム 2 時間 36 分 22 秒)

子どもフェスティバルを各種団体と共催した。(平成 23 年 3 月 6 日 / 参加者 : 300 人)

鳥羽市スポーツ優秀賞の表彰を行った。

(平成 22 年 11 月 7 日 / 表彰者数 : 団体優秀賞 4 団体、個人優秀賞 39 名)

補助金を交付し、団体育成に努めた。

(鳥羽市体育協会、スポーツ少年団、武道振興会、長岡スポーツ文化クラブ)

補助金を交付し、小中学生のスポーツ大会派遣を支援した。

(鳥羽市小学校体育研究会、鳥羽市小学校校長会、鳥羽市中学校体育連盟)

例年行われている各種スポーツイベントの開催等で、スポーツに参加する多様な機会を提供できた。中でも体育指導委員が3色(触)パレーの考案により、自主研修会を行い、新たな種目での巡回スポーツ教室を

開催し好評であった。今後は、地域のスポーツ活動を普及・推進していくために、スポーツ教室の開催だけでなく、体育指導委員が調整役としての役割を果たし、生涯スポーツの推進を図りたい。

また体育団体等はジュニア選手育成においては、一定の効果を上げているが、もっと自主事業の充実を図り、スポーツ推進と競技力の向上を図りたい。

評価

B

スポーツ施設の充実・管理

[目標]

鳥羽市運動施設の充実と適正な維持管理に努め、市民がいつでも、どこでも、だれとでもスポーツのできる場所を提供するなど、施設の活用に努める。

[取り組みの概要]

鳥羽市運動施設の管理を指定管理者として、財団法人鳥羽市武道振興会に委託した。
(委託施設：市民体育館・野球場・相撲場・庭球場・多目的グラウンド・水泳プール
計6施設 / 年間利用者数：57,789人)
学校体育施設(屋内運動場及びグラウンド)を登録団体に開放した。
(開放校数：10校 / 年間利用者数：41,926人)

中央公園運動施設は管理運営を指定管理者に委託し、施設の効率的な運営と市民サービスの向上に努めた。また、近隣の大学等へ施設案内を配布し、利用者の拡大に努めた。今後は市民や利用者のニーズに合った新たなスポーツ教室等の企画を提案し、また行政放送や広報とばの活用やポスターを作成するなど、さらに情報発信を積極的に行い、新たな利用者を掘り起こすなどの事業展開を図るとともに、施設の改修計画の策定を進める。

評価

B

(3) その他

[目標]

その他生涯学習に関する事務、事業の積極的な推進に努める。

[取り組みの概要]

鳥羽市社会教育委員会を開催し、社会教育行政方針や生涯学習・公民館・図書館・歴史ガイドセンターの各主要事業についての事業計画の審議、事業の経過報告を行った。
(委員会開催回数：2回)
スポーツ振興審議会において、スポーツ振興施策方針や主要事業の報告を行った。
(審議会開催回数：2回)

市民の生涯学習やスポーツへの関心を高めるためにも、外部有識者または専門性の高い有識者の意見を反映し、普及振興を進めていきたい。

評価

B

管理・執行を教育長に委任する事務に対する意見（生涯学習に関すること）

人口減少、少子高齢化、過疎化が進行する鳥羽市において、地域住民が生きがいを感じる生涯学習を推進することは重要であり、教育委員会 3 課の横の連携が望まれる。そして、その中心となる生涯学習課の果たす役割は大きい。

生涯学習講座は市民の興味、関心をよく把握し、年々内容が充実している。また新しい講座も参加者や市民へのアンケート等を通して開設してほしい。

地域により差が大きい公民館活動については、活動状況を把握し、館長、主事の報告をもとに指導すべきである。

各種行事（成人式、地球塾、少年探偵団等）を継続していることは評価できる。成人の減少による参加者や会場のあり方、地球塾における参加者の減少と内容の充実等、更に一層の継続を期待する。

放課後子ども教室は、核家族や共稼ぎ家庭の増加に伴い、課題になっている。この事業は市であるなら、限られた地区ではなく、全ての学校区対象で実施する必要があると思う。お年寄りと子どもの交流の場をつくり、お年寄りを敬うこと、親切にする気持ちを育む教育をし、その様な子どもを育てる市であってほしい。

青少年健全育成活動は非常に重要であり、よく取り組んでいるが、「市民会議」「青少年を守る店」「家庭の悩み相談」の体制や活動状況が、市民に対して見えてこない。広報の充実と、各学校での PTA 活動の際、関係者が出向いて説明するなどの啓発活動を推進することが必要である。

歴史文化の専門職員を採用したことにより、ここ数年、歴史・文化おこしは情報発信等で大きな成果をあげている。「海女文化」「伝統文化」「鳥羽城跡発掘」「広野邸改修」等まちの活性化に及ぼす影響は大きい。反面、「加茂五郷の盆祭」など消えそうな、伝統文化をどう再興するかが課題である。

スポーツ関係では、体協、体指等それぞれ能力に応じて市民が楽しめるスポーツの振興、充実に努力している。生涯スポーツについて、年齢を問わず誰もが楽しめる競技は難しいと思うが、少子高齢化の中で楽しめるスポーツ、健康づくりのスポーツ、各地域が集まって実施する運動会、体育大会等、多数の住民が参加できる工夫を期待する。

管理・執行を教育長に委任する事務に対する意見（生涯学習に関すること）

スポーツ活動での優良表彰は大変よいが、地域文化活動、学校での文化活動でがんばっている若者や高齢者団体等の表彰も考えるべきではないか。また、スポーツ施設の活用は進んでいるようだが、休日夜間の利用者に対し地震・津波等災害に対する指導訓練を実施する必要があると考える。

図書館事業については、子どもの読書活動への取り組み等大変評価する。今後とも市民のニーズにこたえる活動を期待する。